



TITLE:

京大広報 No. 602

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 602. 京大広報 2005, 602: 1941-1962

ISSUE DATE:

2005-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/196493>

RIGHT:



京大広報

No. 602

2005. 6

目次

〈大学の動き〉

- 尾池総長の高麗大学校訪問……………1942
 東アジア研究型大学協会(AEARU)理事会の開催
 および理事校4大学との学術交流協定の締結
 ……………1942
 OCW@KU：京都大学の教育を世界へ発信
 ……………1944
 博士学位授与式……………1944

〈部局の動き〉

- 原子炉実験所イノベーションリサーチラボ
 披露行事を挙行……………1945

〈寸言〉

- 「幸せになる条件」－3Kの克服－
 安達篤夫……………1946

〈随想〉

- 「製造期間80万年」の新製品
 名誉教授 瀬地山 敏……………1947

〈洛書〉

- 土耳其 松本 紘……………1948

〈話題〉

- 京都大学未来フォーラム(第12回)を開催……………1949
 シンポジウム「21世紀に森・川・海が再生
 するために」を開催……………1949
 宇治事業場安全衛生教育を実施……………1950

- 医学部附属病院が「メンタルヘルスに関する
 講習会」を実施……………1950
 医学部附属病院が
 「キャリア・プランニング・シリーズ
 内科系」カンファレンスを実施……………1951

〈日誌〉

- ……………1951

〈訃報〉

- ……………1952

〈資料〉

- 平成17年度入学試験諸統計……………1953

〈公開講座〉

- フィールド科学教育研究センター芦生研究林
 公開講座 2005 森のしくみとその役割……………1958
 数理解析研究所数学入門公開講座……………1958
 理学研究科数学教室公開講座
 「現代数学展望」……………1959
 霊長類研究所公開講座
 「サルを見てヒトを知ろう」……………1959

〈お知らせ〉

- 環境安全保健機構開設記念フォーラム……………1960
 「総合体育館附設プール」の夏季利用……………1960
 「白馬山の家」の夏季・秋季開設……………1961
 「白浜海の家」の利用……………1961
 附属図書館の特色ある貴重なコレクションの
 常設展示「附属図書館セレクション」……………1962
 〈編集後記〉……………1962



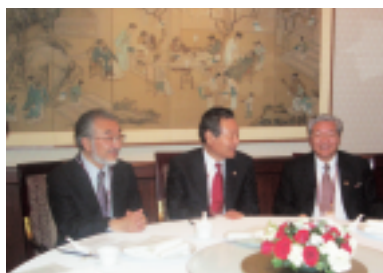
AEARU理事校4大学との
 学術交流協定の締結
 一関連記事
 本文 1942ページ

京都大学広報委員会
<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

大学の動き

尾池総長の高麗大学校訪問

京都大学と高麗大学校とは、平成14年に大学間学術交流協定を締結し、交流を続けている。このたび尾池和夫総長は、高麗大学校開校百周年記念式典に参加するため、5月3日（火）から5日（木）まで韓国の高麗大学校を訪問した。この式典には22カ国95大学および韓国内105大学の学長らが参加した。



魚高麗大学校総長（中央）、許北京大学長（右）との座談会

式典に先立ち、尾池総長、魚允大高麗大学校総長、許智宏北京大学長の三者による座談会が行われた。座談会においては、

大学の社会的役割、大学の人材養成、大学の競争力、アジアの大学の差別性、歴史認識に対する大学の役割といった幅広いテーマについて意見が交わされたが、その中で尾池総長は、地域社会と連携し文化の発展に貢献しようとする京都大学の姿勢や、大学の評価基準について西欧的伝統を認識しつつアジア独自の評価基準を設けることの必要性などについて言及した。また、魚

高麗大学総長は、高麗大学が将来リーダーとなる人材を育成し、高い国際競争力のある大学を目指してい



京都大学の学旗を最前列に参加大学学旗の入場



ゾルボンヌ大学、UC Davisからの出席者と尾池総長

ることなどについて述べ、許北京大学長は人材育成、学術研究による知識と思想の普及、社会との連携の重要性について触れた上で優れた教授陣の確保など北京大学が行っている取り組みについて発言した。

その後行われた世界大学長フォーラムでは、Martha C. Piperブリティッシュコロンビア大学長が「大学の役割は普遍的グローバルリーダーと世界市民を育成すること」との基調講演を行い、その後参加大学の学長は5つのグループに分かれて「知識基盤社会のための大学の役割」というテーマで意見交換を行った。

5日にはメインイベントである高麗大学校開校百周年記念式典が開かれた。尾池総長はアカデミックガウンを身につけ、各大学の校旗の立ち並ぶ壇上に上がり、写真と共に紹介を受けた。200に及ぶ大学の学長が参加するという盛大なセレモニーの後、記念の植樹を行い、全ての日程を終えた。

東アジア研究型大学協会(AEARU)理事会の開催および理事校4大学との学術交流協定の締結

5月13日（金）に京都大学において、東アジア研究型大学協会（AEARU）の理事会が開催された。

AEARUは、地域的・文化的な類似性を共有する東アジア地域に位置する北京大学、清華大学、ソウル

国立大学など17の研究型大学で構成される大学連合であり、教員・学生交流、共同研究プロジェクトの推進、特定のテーマによる会議の共催等といった、加盟校の共通の関心に基づく協力を行うことを目的として1996年に創設された。我が国からは、本学の他に東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学および大阪大学が加盟している。本学は平成16年から2年の任期で理事校となっている。

理事会当日には、会議に先立ち、尾池和夫総長と、他の理事校4大学の朱經武香港科技大学長、Robert B. Laughlin韓国科学技術院学長、陳維昭国立台湾



AEARU理事会の様子

大学長、朱清时中国科学技術大学長との間で、大学間学術交流協定の調印式が行われた。

理事会では、前年度事業の実施報告並びに今年度の事業計画が了承され、8月31日から9月2日まで、京都大学においてAEARUとAPRU（環太平洋大学協会）とのジョイント・シンポジウム「環太平洋地域における地震危険度—その予測と防災—」を開催することを報告して閉会した。

出席者はその後、本学の総合博物館、桂キャンパス（工学研究科）を見学した後、嵐山を訪れ、深緑の京都を満喫した。



協定締結後、握手する5学長

AEARU理事校—香港科技大学、韓国科学技術院（KAIST）、国立台湾大学、中国科学技術大学—との学術交流

本学はAEARU理事校である香港科技大学、韓国科学技術院(KAIST)、国立台湾大学および中国科学技術大学と大学間学術交流協定の締結について協議を重ねてきた。このたび本学は、これら4大学との教育・研究の交流と協力を推進するための「学術交流に関する一般的覚書」を各大学毎に交換した。

香港科技大学は1991年に創設された、理学部、工学部、経営学部、人文社会学部の4学部、4研究科を有する新しい研究拠点型大学である。教員は410人。学生は8,600人。ホームページは<http://www.ust.hk/en/>

韓国科学技術院は、1981年に設立された、自然科学部、工学部、人文社会科学部の4学部、1研究科を有する国立の科学技術系大学である。教員は700人。学生は7,000人。ホームページは<http://www.kaist.edu/>

国立台湾大学は1928年に台北帝国大学として設立され、その後1945年に国立台湾大学に名称を変更した。文学部、理学部、社会科学部、医学部、工学部、法学部等の11学部、10研究科を有する総合大学である。教員は1,800人。学生は30,600人。ホームページは<http://www.ntu.edu.tw/>

中国科学技術大学は1958年に設立された、理学部、生命科学部、工学部、情報学部、経営学部等の8学部、9研究科を有する中国科学院の元で作られてい

る唯一の大学である。教員は1,100人。学生は16,000人。ホームページは<http://www.ustc.edu.cn/en/>

OCW@KU:京都大学の教育を世界へ発信

教育のグローバル化が進展する中で、21世紀における大学の役割が知の創造と社会への還元にあるという認識のもと、MIT（マサチューセッツ工科大学、米国）が提唱するOpen Course Ware（講義情報のネット公開による知の創造と共有の思想、具体的には科目の概要、シラバス（講義概要）、予定表、講義ノートなどの講義情報をネットで公開し無料で提供する）に共鳴し、MITと協力関係を結び、国際的なレベルでの知の発信に取り組むテストプロジェクト「OCW@KU」を立ち上げた。

5月13日（金）、京都大学／大阪大学／慶応義塾大学／東京工業大学／東京大学／早稲田大学の6大学が、講義内容や教材などをインターネットで無償公開する日本版OCWをスタートさせ、東京都内で報道発表を行った。MITのOCWは国際的に注目され、世界から50万人の利用者を獲得している。MITと連携することで、日本を代表する知の世界発信を加速することを目指している。

OCW@KUは、MITOCWへのアクセスの6割がアジア圏からであるという事実を考慮し、アジア各国からの優秀な留学生をリクルートするとともに、世界に向けて、京都の文化・伝統を持つ京都大学の教育をアピールするために、英語だけでなく積極的に日本語も使っていくことにしている。さらに、OC



Wを新しい教育メディアとして利用しアジア各国とのコミュニケーションを深め国際交流を推進する。

OCW@KUプロジェクトは本学の教員が何をどのように教えているのかを世界に伝えることが目的であり、できるだけ多くの講義情報を掲載していきたいと考えている。教員の皆様方の積極的なご支援、ご協力をお願いしたい。なお、これまでにご協力いただいた成果は、京都大学OCWとして<http://ocw.kyoto-u.ac.jp>に掲載しているので参照していただきたい。

問い合わせ先：OCWプロジェクト

TEL/FAX：075-753-9081（担当：土佐）

E-mail：staff-ocw@media.kyoto-u.ac.jp

博士学位授与式

5月23日（月）午前10時30分から、時計台記念館国際交流ホールにおいて、尾池和夫総長、東山紘久教学担当理事をはじめ、各研究科長・学舎長出席のもと、博士学位授与式が挙行された。

尾池総長から、各授与者に対し学位記（5月23日付）が手渡された後、総長の式辞があり、午前11時20分に終了した。

各分野別内訳は次のとおりである。



学 位	課程博士	論文博士	計	学 位	課程博士	論文博士	計
博士（文 学）	2	—	2	博士（工 学）	6	9	15
博士（教 育 学）	3	—	3	博士（農 学）	7	5	12
博士（法 学）	1	1	2	博士（人間・環境学）	3	—	3
博士（経 済 学）	2	—	2	博士（エネルギー科学）	—	—	—
博士（理 学）	5	2	7	博士（地 域 研 究）	2	—	2
博士（医 学）	10	2	12	博士（情 報 学）	4	1	5
博士（社会健康医学）	2	—	2	博士（生 命 科 学）	1	—	1
博士（薬 学）	—	—	—	博士（地球環境学）	1	—	1
				計	49	20	69

部局の動き

原子炉実験所イノベーションリサーチラボ披露行事を挙行

原子炉実験所では、このほど将来の研究の新たな展開の足がかりとなる総合実験研究棟「イノベーションリサーチラボ棟」が完成し、その中に新しい研究設備としてF F A G（固定磁場強集束型）加速器の設置が進みつつあるなか、5月6日（金）にその披露行事を挙行了た。

披露行事は、学内外の関係者約170名の参加を得て、原子炉実験所および熊取ふれあいセンターにおいて、記念講演会、開棟式・施設見学、披露式および祝賀会の次第により行われた。

記念講演会では、原子炉実験所の三島嘉一郎教授が「K A R T & L A B計画と施設の整備状況」、森義治教授が「F F A G加速器の現状と将来」、小野公二教授が「がんの硼素中性子捕捉療法 ―現状と展望―」、また、井上 信京都大学名誉教授（前所長）が「イノベーションリサーチラボへの期待」の演題で講演を行った。

その後、イノベーションリサーチラボ棟の開棟式

に移り、参加者が見守る中、笠原 隆文部科学省大臣官房文教施設企画部計画課課長補佐、入倉孝次郎本学副学長、矢吹萬壽大阪府原子炉問題審議会会長、上垣正純熊取町長および代谷誠治原子炉実験所長によるテープカットが行われた。

引き続き施設見学が実施され、参加者は、同棟の施設および加速器についての実験所員の説明に熱心に聞き入っていた。

会場を熊取ふれあいセンターに移した披露式では、代谷所長の挨拶の中で新研究棟の完成と新型加速器の導入を機に、原子力・放射線に関する学術および研究教育の新たな展開を図り、それを通じて社会に貢献することを目指す抱負が述べられた。次いで、入倉副学長、清水 潔文部科学省研究振興局長、矢吹会長、上垣町長から祝辞が述べられた。

式典終了後祝賀会が開催され、参加者の和やかな歓談のなか、披露行事は盛況のうちに幕を閉じた。

（原子炉実験所）



イノベーションリサーチラボ棟でのテープカットの様子



披露式で挨拶する代谷所長

寸言

「幸せになる条件」－3Kの克服－

安達 篤夫

去る4月2日、時計台記念館国際交流ホールに250名強の老若男女が集まった。皆、元気で明るい顔をし、各々懐かしい顔を見つけ楽しい会話を交わしていた。「京大庭球部百周年記念祝賀会」である。



尾池現総長、九大庭球部OBの前京都府知事、デビス杯選手であった有名私立大学の選手をはじめ、多数の名士、並びに国立七大学の歴代の選手、勿論、90歳に近い大先輩のOBから現役庭球部員まで、一同に会したのである。

この集団は一体何なのだろうか。学生時代に庭球部に所属し、ある者は選手として活躍し、ある者は選手にはなれず、ただ球拾いと審判とコート整備のみに終始した部員も多数いるのである。しかし、この集団の結束は堅い。先輩から後輩への縦の繋がり。これらは単に、テニスだけに止まらず、社会に出てから公私にわたり繋がりが続くのである。

このことは、人生を楽しく、かつ有意義に生きて行くのに不可欠な要素なのである。

人間誰しも幸せな人生を過ごしたいと願っている。しかし、人生を不幸にする三つの要素がある。これを3Kで表すこととする。この3Kを努力して克服できれば、誰しも幸せな人生が過ごせるのである。ではこの3Kとは何か。

まず第一のKは「健康」である。病気になれば、いくら経済的にゆとりがあっても不幸である。もちろん、肉体的健康ばかりでなく精神的にも健康であらねばならない。私は精神病院の仕事にも関係しているが、21世紀は「心の時代」とも言われ、社会の高度化、複雑化に影響を受け、ストレス性の精神病患者が多発化の傾向にある。とにかく健康か否かの判断基準は、端的に言えば「快食」「快眠」「快便」である。この三つを欠かさぬよう努力することが重要である。

第二のKは「お金」「経済面」である。

いかに健康で元気であっても、経済的に余裕がある程度なければ、豊かな人生を味わえない。もちろん、巨万の富を蓄積する必要はさらさらないが、時には、旅行もし、おいしい食事もし、趣味も適度に楽しむくらいの余裕は欲しいものである。このためには、今後あまり期待の持てない社会保障給付は、弱者のためのもの、あるいはあくまでも補完的なものと考え、自ら自助努力をし、若い頃から計画性を持って財産形成を行うことが肝要である。この時、忘れがちなのは、人生のリスク（病気や怪我、火災等災害）に対する備えである。このことを欠くと第二のKは克服できない。

最後に第三のKは「心」あるいは「孤独」である。あの阪神淡路大震災の後、「孤独」のために自殺やアル中になった老人が多数おられたことは記憶に新しい事柄である。

「人生何のために生きるのか」「生きがい」とは何ぞや等については、今まで、たくさんの学者や識者が論じてきた。「自己実現」で有名なマズローの「欲求の五段階説」等多数の学説、論文が存在している。今一番ポピュラーなのは、厚生労働省の外郭団体、「健康・生きがい開発財団」が普及活動を展開させている「生きがいの三段階説」であろう。

即ち、達成感や成就感中心の「第一人称の生きがい」であり、家族や友人と喜ぶ「第二人称の生きがい」にすすみ、究極的には、自分とは全く利害関係のない第三者のためになることを行い、その第三者が喜ぶことをもって自分が生きがいを感じるという、いわばボランティア的なもので、これを「第三人称の生きがい」と定義付けている。

趣味は、そのものにあるのではなく、友人を作るためにあると言われている。どの時代でも、友人や家族を持ち、3Kの一つである「孤独」の克服に努めるよう心掛けることが、大変重要なことと考える。

（あだち とくお （財）医学研究所北野病院特別顧問 大阪家裁調停委員 昭和35年法学部卒業）

随想

「製造期間80万年」の新製品

名誉教授 瀬地山 敏

縁あって鹿児島国際大学（津曲学園）に赴任し、この秋で2年になります。経済学部、福祉社会学部、国際文化学部、短期大学部それに三つの大学院。学生数は4,500名、大学は桜島と錦江湾を眺望する森の中にあります。京大経済学部の先生・先輩である平田清明名誉教授、菱山泉名誉教授が引き続き、この大学をひきいてこられました。菱山先生（現津曲学園理事長）の後任として、仕事をしています。わたくしは高校まで鹿児島で育ったので、つよい縁はあるのですが、「ふるさとは遠きにありておもうもの」という気持ちがつよく、おすすめを辞退していました。決心したのは、「菱山先生ががんばっておられるのだから、君が行かない法はないだろう」という伊東光晴名誉教授のことばです。それまでお世話になっていた関西大学を辞して、こちらにきています。



こちらにきて大学における教育・研究のあたらしい試みに追われています。ふたつ紹介させていただきます。ひとつは授業の全学公開（非常勤講師を含む）です。去年はその実験として、ボランティアの先生（22名の参加）を募って、授業公開とピア・レビューの「意見交換会」をしました。このパイロット授業は、学生も加わった2度の全学シンポジウムで積極的な評価をえましたので、ことしは全学にひろげることになりました。年間にして1万回をこえる授業を、どのようにピア・レビューし、また学生の評価を受けるか。教務部長を中心とするFD委員会がすばらしいシステムを考えました。このチームの先生と職員は、昨年京都大学にでかけ、田中毎実教授（高等教育研究開発推進センター）と八木紀一郎教授（経済学研究科）の授業公開を参観しています。日本ではじめて高等教授法開発の研究に組織的に取り組んだのは、京都大学です。旧高等教育教授システム開発センターの創立に努力され、初代センター長をつとめられた岡田渥美名誉教授（教育学部）、田中毎実教授のご意見に、啓発を受けています。

鹿児島国際大学は、私学では九州最初の高等商業学校として設立されました。一昨年70周年を迎えました。鹿児島を中心に広くまた多くの社会人を輩出してきました。数年来こちらの経済界から、地域の活性化を担う人材を育てるべきだという強い要望がありました。菱山先生の跡を継ぎ、その具体的な構想の実現に努力しています。小さく生んで大きく育てるという考えで、定員60名、その名は「地域創生学科」です。来年度から開設します。そのコンセプト、研究・教育組織のありかたなど工夫をしましたが、「企業秘密」にしておきます。

その新学科の構想をつくるのに、とりわけ鹿児島における、明治以来のモノ・サービス・知のネットワークに関心を持ってきました。この点について本格的な研究が、研究の領域でも民間・行政の領域でも行われていないことを知りました。新学科の重要な課題のひとつになります。調べているうちに、数年前「きんごきんご」という洗顔料を考案し、地元より全国的に評価を得ている企業にいきあたりました。錦江湾は始良カルデラの海です。その深層に累積している火山灰（シラス）が原料です。はじめのうちはみがき粉でしたが、使用後手がツルツルするという評判が出て、研究を重ね化粧品として完成されました。シラスは天然の物質の中でいちばん遠赤外線が多く、それがおこす電磁効果がこの化粧品の秘密とききました。全国大手百貨店の特産品販売で、記録的な売上だったといえます。それにつれ企業も確実な成長を続けています。「鹿児島生まれ全国育ち」というコピーはうそではないようです。またコピーには「製造期間80万年」というのもあり、ふしぎな感銘をおぼえました。「きんごきんご」は方言で、「はだがつるつるしている」という意味です。これだけの全国的な評判だから、この商品名でいいのか、と思いますが、社長は現役を退いたあとに創業した80代の男性。この起業者精神にも感銘を受けました。

（せちやま さとし 元大学院経済学研究科教授
平成12年退官、専門は経済理論）

洛書

土 耳 古

松本 紘

先日、トルコのイスタンブールで宇宙技術学会が開かれた。セッションの責任者として出席してきた。訪問前にもトルコという国について漠然とした知識はあったが、百聞一見の表現通り新鮮な経験をさせてもらった。



トルコは「土耳其」と書くらしいことは年老いた母から聞いており、明治、大正時代生まれの人々には明治23年（1890年）のトルコ軍艦エルトゥールルの遭難事件の事でよく知られている。オスマントルコ帝国が明治天皇にトルコ最高荣誉勲章を奉呈するために、日本を儀礼訪問に派遣した軍艦がその帰路、紀州沖合で嵐のため座礁し650名が遭難した。地元串本の人々の懸命の働きで69名を救助し、暖かい手をさしのべトルコの人々にずいぶんと感謝されたらしい。トルコの人々はその事もあって大変親日的で、その返礼としてイラン・イラク戦争の折、イラン在留邦人の救出に尽力したことは記憶に新しい。

なぜ、トルコで宇宙技術関連の学会がトルコのミリタリースクール関係者主催で定期的開催されるのか疑問であったが、セッションの共同コンビナーであるトルコ出身の米国スタンフォード大学 Umran Inan 教授の話で理解ができた。普通、多くの国では軍部は保守的で改革には抵抗勢力となることが多い。しかし、トルコはその国民の99%がイスラム教徒で、国家としては政教分離（世俗主義）が標榜されているが、実体的には政府関係者や一般市民は保守的あるいは守旧的傾向が強い。従って科学技術を支えるトルコの優秀な学生の多くはミリタ

リースクールに進み、先進諸国とくに欧州連合（EU）との連携や革新改革に大変意欲的である。事実、セッションでは宇宙太陽発電関係の講演に対して、多くの活発な質問がこれらの人々から出さ

れ、強い関心を示したことは驚きであった。この様子は我が国の明治維新初期の状況に近いのかもしれない。当時の軍人を含め、明治維新推進派の若人が新しい科学技術に強い関心を示していたのと似ていると感じた。

トルコが親日的な理由はほかにもあるのかもしれない。政治外交的に日本とは大きな懸案事項がないことが文化交流や東洋の勤勉な日本国民に対して親近感、敬愛心を持っている理由の一つであろう。さらに、トルコ語そのものが中央アジアに起源を持つ「ウラル・アルタイ語系」の「アルタイ語」に属し、蒙古語、朝鮮語、日本語と近く、同郷の心情も働いているのかもしれない。Inan教授に質問してみても確認したことであるが、語順が日本語と酷似している。例えば「私は学校へ行きます」という表現は、英語で表すと「I school-to go.」となっている。しかも「学校へ」という風に助詞が目的名詞の後ろについているのも同じである。サンスクリット語やタミール語が日本語と同じ類似基本語を多く持つと聞いたことがあるが、トルコ語にも「野蛮」に相当する「ヤバン」や「いい」に対応して「イーイ」、「宇宙」を「ウーザイ」、水を「スー」と言うなどいくつかの類似点があった。もともと私は言語が好きであるが、言語比較も改めておもしろいと再認識できた。トルコの人々も文法構造が似ている言語を話す日本人には格別に親近感を感じているのではとも思った。

イスタンブールはちょうど東ヨーロッパと西アジアの接点に立地し、黒海とマルマラ海をつなぐ有名なボスフォラス海峡が市内を横切っている。マルマラ海はダーダネルス海峡を通してエーゲ海に繋がっている。ちょうど筆者が訪れた6月中旬はイスタンブールの気候はさわやかで大変気持ちが良かった。特にボスフォラス海峡は海でありながら、対岸の優雅な景色が見え、すんだ青空と碧い海面、白壁・赤煉瓦作り高級住宅地が緩やかな丘陵に張り付く風景はイスタンブール市民の自慢であろう。イスラム教とキリスト教の文化遺産が混在し、バザールには5000以上の店が密集し、その豊富な物量にも圧倒された。Inan教授の強いすすめでおいしいトルココーヒーも堪能できた。もし、時間がゆったりと流れる人生が取り戻せたら、ぜひ再訪問してイスタンブール以外のトルコ全土を訪れたいと感じている。

（まつもと ひろし 生存圏研究所教授、専門は宇宙電波工学）



デノミ前後の1500円相当の
20,000,000リラ札と20新リラ札



トルココーヒーを飲むIanスタンフォード大学教授
(イスタンブールにて)



ジャボン、ジャボンと好意を示すトルコの子たち

話題

京都大学未来フォーラム（第12回）を開催

京都大学では、恒例となった様々な分野で活躍する本学卒業生「OB・OG」を迎えて、講演と意見交換を行う京都大学未来フォーラムの第12回目を、3月23日（水）の夕刻に時計台記念館百周年記念ホールにおいて開催した。

今回は、理学部を卒業され、現在は滋賀県立琵琶湖博物館館長兼滋賀県顧問として活躍されている京都大学名誉教授の川那部浩哉氏を講師に招き、理学研究科の瀬戸口烈司教授の司会で、「生態学研究から見た地球環境の未来」と題して講演が行われた。

講演では、野外調査の中で得られた川や湖に棲むさまざまな生きものたちの相互関係（摂食・競争・協同関係など）について具体例をあげて説明された。そして、過去のことが今のものを決めているからこそ未来のものは現在が決めるはずであり、基本的に生きものは、生活してきたところで自らが変容し、自らがお互いを選択・淘汰し、新しいものを作っていくので、そういうところまで考えなければいけな



い。現在の地球上では、人口はアジアを中心として急速に増加してきている。その人達が、例えば現在のアメリカ並みにエネルギー消費を行うとすれば、完全に地球は壊れていくことが明白であり、その対応について真剣に取り組んでいかなければならないことが強調された。

参加した約140名はメモをとりながら真剣に聞き入り、講演終了後、参加者からは21世紀における地球上の適正な人口数に関する具体的な質問等があり、有意義なフォーラムとなった。

シンポジウム「21世紀に森・川・海が再生するために」を開催

5月12日（木）に高知県須崎市立市民文化会館において、京都大学・高知大学・高知県の共催でシンポジウム「21世紀に森・川・海が再生するために」が行われた。このシンポジウムは、取り壊しが決まっていた高知県こどもの森施設を本学フィールド

科学教育研究センター（フィールド研）と高知大学大学院黒潮圏海洋科学研究科（黒潮研）が高知県から無償で借り、両大学共同利用の臨海施設として教育・研究・社会連携に有効利用し、高知から森・川・海再生への新たな流れを生み出すに至ったこと

を記念して開催された。主催者を代表して本学辻文三副学長と橋本大二郎高知県知事の挨拶が行われ、引き続き本学からは2題の基調講演、「森里海連環学のすすめ」(田中 克フィールド研センター長)と「サーモンは、森に何を教えたか」(作家C.W.ニコル：フィールド研社会連携教授)が行われた。また、「“黒潮圏”研究がめざすもの」と題した基調講演が深見公雄高知大学黒潮研研究科長より行われた。パネルディスカッションでは、このシンポジウムの企画に尽力されたアウトドアライター天野礼子氏の司会のもと、梅本信也フィールド研助教授、山岡耕作高知大学黒潮研教授、上林 匡高知県産業技術委員会理事の間で自然再生への思いと取り組みについての意見交換が行われた。400人を越えた参加者からは



多くの共感と「自分も何かをしなければと思った」などの積極的な意見が寄せられた。

(フィールド科学教育研究センター)

宇治事業場安全衛生教育を実施

本学宇治事業場は、5月12日(木)宇治事業場衛生委員会主催、各部局安全委員会等共催による安全衛生教育を新入院生、4回生、新教職員及び安全衛生担当者を対象に午後2時から実施した。

最初に、宇治地区所長会議世話所長である吉川 潔エネルギー理工学研究所長の挨拶のあと、宇治事業場総括安全衛生管理者の堀井文敬化学研究所教授ほか衛生委員会委員等の講師による、教育課題「安全衛生管理体制」、「化学薬品および薬品管理」、「生物実験および放射線取扱」、「物理実験および計算機関

係」および「一般廃棄物および排水」に関する安全衛生教育を実施した。

新入院生を主に約260名が参加し、熱心に聞き入っていた。今回の受講者には、安全衛生教育修了証が交付された。引き続き、奈良女子大学大学院教授・同大学保健管理センター所長 高橋 裕子氏による禁煙講演会「わかる、出来る、楽しい禁煙」を実施し、活発な質疑応答等がなされ、午後5時30分に終了した。

(宇治地区事務部)



開催の挨拶を述べる吉川所長



禁煙について講演する高橋氏

医学部附属病院が「メンタルヘルスに関する講習会」を実施

医学部附属病院では、5月27日(金)に「メンタルヘルスに関する講習会」を実施した。

この講習会は、職員が職務を遂行していく上で必

要な職場のメンタルヘルスについて、より一層理解を深めるため実施したものである。

当日は、メンタルヘルス専門家の慶応義塾大学の

精神看護学 末安民生助教授を講師に招き、医師、事務職員、メディカルスタッフ等、約150人が参加して行われた。

講演では、「ヒューマンビンゴ」と題したゲームを行うことにより、「お互いをどう理解しあい、支えあうのか」ということを改めて考える糸口にすることができた。「相互理解」という人との基本的な接し方、また同僚、組織のシステムによって「いつもと違う自分、いつもと違う同僚」、その状態に早く気づくことが大切であることを話された。

(医学部附属病院)



医学部附属病院が「キャリア・プランニング・シリーズ 内科系」カンファレンスを実施 ～総合臨床教育・研修センター・医学教育推進センター共催～

医学部附属病院では、5月27日（金）に「キャリア・プランニング・シリーズ 内科系」のカンファレンスを実施した。

このキャリア・プランニング・シリーズは、研修医をはじめ他の病院の医師等を対象としたもので、約130人が参加して行われた。

内容は、内科系の医師であれば、専門医取得の経過も含めて今後どのようなキャリアが描けるのかを循環器内科等の医師より、自分の経験を交えて講義が行われた。参加した研修医たちはメモを取る者も多く、熱心に耳を傾けていた。

(医学部附属病院)



日誌

2005.4.1～4.30

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| 4月4日 役員会 | 19日 企画委員会 |
| 5日 名誉教授称号授与式 | 20日 情報公開・個人情報保護委員会 |
| 〃 退職教授懇談会 | 〃 国際交流委員会 |
| 〃 学生部委員会 | 21日 職員組合との団体交渉 |
| 7日 入学式 | 22日 環境安全保健機構運営委員会 |
| 〃 大学院入学式 | 25日 役員会 |
| 8日 教育制度委員会 | 26日 財務委員会 |
| 〃 職員組合との団体交渉 | 〃 教育研究評議会 |
| 11日 役員会 | 〃 中国、楊 振寧 清華大学物理学部教授 |
| 12日 情報環境機構運営委員会 | 他1名、総長他と懇談 |
| 〃 部局長会議 | 27日 人権委員会 |
| 15日 入学者選抜方法研究委員会 | 28日 ブルガリア、Blagovest Sendov 駐日ブル |
| 18日 役員会 | ガリア大使 他1名、総長他と懇談 |

訃報

このたび、^{なが おさと}長尾雅人名誉教授、^{やま だともひろ}山田知宏医学部附属病院医務課入院掛事務職員、^{みやもと もり たろう}宮本盛太郎名誉教授が逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

以下に各氏の略歴、業績等を紹介します。

長尾 雅人 名誉教授



長尾雅人先生は、3月13日逝去された。享年97。

先生は、昭和6年3月京都帝国大学文学部哲学科を卒業、同大学大学院において仏教学を専攻の後、東方文化研究所所員、京都大学人文科学研究所助教授を経て、同25年2月文学部に移られ、同26年3月教授に昇任、以後20年にわたり仏教学講座を担当された。昭和46年3月停年により退官され、京都大学名誉教授の称号を受けられた。この間、昭和42年3月から同44年3月まで評議員、大学院審議会審議員を務められ、同44年3月から同45年3月の1年間は文学部長を務められ大学の管理運営に貢献された。また、日本チベット学会

会長、国際仏教学会(IABS)理事長を務められるなど、わが国はもとより世界の仏教学の発展に尽力された。

先生のご専門はインド大乘仏教思想史並びにチベット仏教哲学史であり、中でも維摩経をはじめとする大乘經典の翻訳、瑜伽唯識思想研究、チベット仏教中観思想研究などにおいて優れた研究業績を残された。先生のご研究は国内ばかりでなく、諸外国の大学からも高い評価を受け、米国ウィスコンシン大学やカナダのプリティッシュ・コロンビア大学などから客員教授として招かれて講義された。著書に、『西藏仏教研究』、『中観と唯識』、『攝大乘論』などがある。

以上の業績に対して、昭和53年に勲二等瑞宝章を受けられ、同55年には学士院会員に選任された。

(大学院文学研究科)

山田 知宏 医学部附属病院医務課入院掛事務職員



山田知宏氏は、4月7日に逝去された。享年30。

同氏は、平成14年4月医学部附属病院医事課外来掛に採用され、以後、入院掛で勤務された。この間3年にわたり、

医事課職員として病院事務に貢献された。

(医学部附属病院)

宮本 盛太郎 名誉教授



宮本盛太郎先生は、4月18日逝去された。享年62。

先生は、昭和40年中央大学法学部政治学科を卒業、同43年早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了、同47年まで京都大学大学院法学研究科博士課程政治学専攻に在籍され、同51年京都大学法学博士の学位を取得された。愛知教育大学教育学部講師、助教授、同51年京都大学教養部助教授を経て、平成4年同教授に就任され、同年10月総合人間学部教授に配置換えとなった。以後、平成12年から評議員、平成13年から15年まで総合人間学部長を務められ、大学院人間・環境学研究科と総合人間学部の統合に

尽力された。平成15年に退官され、京都大学名誉教授の称号を受けられた。本学退官後は、平成15年4月から名城大学人間学部長・教授を務められた。

先生は、比較政治思想史的方法による近代日本の政治思想を研究し、多くの優れた研究業績を残された。特に、日本の国家主義者とドイツの国家主義者との比較、日本の自由主義者・政治家のイギリス観の研究など、綿密な考証と独創的な分析によって画期的な成果を挙げられた。また、法学研究科における日本政治思想史の講義や人間・環境学研究科における近代化論の研究指導によって、多くの若手研究者の育成に尽力された。誠実でユーモアを絶やさぬ人柄であり、人々に親しまれ尊敬される存在であった。

(大学院人間・環境学研究科)

資料

平成17年度入学試験諸統計

1. 募集人数・志願者数・合格者数・入学者数等調

学部・日程		募集人員	志願者数	第1段階選抜合格者数	受験者数	合格者数	入 学 辞退者数	追 加 合格者数	入学者数
総合人間 学 部	前期(文系)	55 ^人	209 ^人	203 ^人	203 ^人	55 ^人			122 ^人
	前期(理系)	50	153	151	148	50			
	後 期	15	248	240	154	17			
文 学 部	前 期	190	562	562	555	193	1		224
	後 期	30	449	303	145	32			
教育学部	前 期	40	150	150	144	43			64
	後 期	20	211	150	82	21			
法 学 部	前 期	300	922	922	909	304	1		328
	後 期	10	363	287	102	25			
経済学部	前期(一般)	160	525	524	515	161	3		238
	前期(論文)	50	251	250	243	50			
	後 期	20	792	587	344	30			
理 学 部	前 期	280	833	811	792	280	1	1	311
	後 期	31	889	875	548	31			
医 学 部	前 期	213	605	559	549	219	12	1	247
	後 期	30	365	307	171	39			
薬 学 部	前 期	70	222	222	210	74			85
	後 期	10	151	151	98	11			
工 学 部	前 期	857	2,166	2,166	2,133	861	2		958
	後 期	98	923	828	377	99			
農 学 部	前 期	233	590	590	579	244	4		315
	後 期	67	703	703	452	75			
小 計	前 期	2,498	7,188	7,110	6,980	2,534			
	後 期	331	5,094	4,431	2,473	380			
合 計		2,829	12,282	11,541	9,453	2,914	24	2	2,892

〔外国学校出身者のための選考の実施結果（外数）〕

学 部	募集人員	志願者数	第1次選考合格者数	受験者数	合格者数	入学者数
法 学 部	20名以内	32 ^人	20 ^人	16 ^人	5 ^人	5 ^人
経済学部	10名以内	33	21	17	9	9

〈医学部学科・専攻別内訳〉

学部・日程		募集人員	志願者数	第1段階選抜 合格者数	受験者数	合格者数	入 学 辞退者数	追 加 合格者数	入学者数
医 学 部	前期	213 ^人	605 ^人	559 ^人	549 ^人	219 ^人	12 ^人	1 ^人	247 ^人
	後期	30	365	307	171	39			
医 学 科	前期	90	324	279	274	91			102
	後期	10	162	104	64	11			
保 健 学 科	前期	123	281	280	275	128	12	1	145
	後期	20	203	203	107	28			
看 護 学 専 攻	前期	63	110	110	108	67	11		70
	後期	7	73	73	35	14			
検査技術科学専攻	前期	30	74	73	70	31			39
	後期	7	72	72	37	8			
理学療法学専攻	前期	15	56	56	56	15			18
	後期	3	31	31	20	3			
作業療法学専攻	前期	15	41	41	41	15	1	1	18
	後期	3	27	27	15	3			

〈工学部・農学部学科別内訳〉

学部・日程		募集人員	志願者数	第1段階選抜 合格者数	受験者数	合格者数	入 学 辞退者数	追 加 合格者数	入学者数
工 学 部	前期	857 ^人	2,166 ^人	2,166 ^人	2,133 ^人	861 ^人	2 ^人		958 ^人
	後期	98	923	828	377	99			
地 球 工 学 科	前期	166	353	353	350	166			185
	後期	19	225	225	97	19			
建 築 学 科	前期	72	243	243	240	73			81
	後期	8	120	80	36	8			
物 理 工 学 科	前期	211	539	539	526	211	1		234
	後期	24	195	192	81	24			
電気電子工学科	前期	117	338	338	331	119			132
	後期	13	98	91	53	13			
情 報 学 科	前期	81	155	155	153	81			90
	後期	9	102	90	51	9			
工 業 化 学 科	前期	210	538	538	533	211	1		236
	後期	25	183	150	59	26			
農 学 部	前期	233	590	590	579	244	4		315
	後期	67	703	703	452	75			
資源生物科学科	前期	75	—	—	—	76			96
	後期	19	168	168	103	20			
応用生命科学科	前期	38	—	—	—	41			51
	後期	9	114	114	69	10			
地域環境工学科	前期	26	—	—	—	28	2		40
	後期	11	108	108	66	14			
食料・環境経済学科	前期	23	—	—	—	25	1		34
	後期	9	110	110	83	10			
森 林 科 学 科	前期	45	—	—	—	47			60
	後期	12	159	159	108	13			
食品生物科学科	前期	26	—	—	—	27	1		34
	後期	7	44	44	23	8			

2. 合格者 最高点・最低点（総点）調

（備考） 1）法学部・経済学部以外の外国学校出身者のための選考を除く。
2）総点については、前期・後期共合格発表時のものである。

学 部	日 程		満 点	総 点		
				最 高 点	最 低 点	平 均 点
総 合 人 間 学 部	前 期	(文 系)	800 点	641.41 点	505.16 点	545.11 点
		(理 系)	800	592.50	446.00	496.30
	後 期		800	652.66	552.33	586.82
文 学 部	前 期		700	559.58	447.08	472.79
	後 期		700	525.00	487.00	502.50
教 育 学 部	前 期		900	689.33	530.91	581.17
	後 期		900	698.74	571.32	599.97
法 学 部	前 期		750	635.25	475.00	514.08
	後 期		500	390.50	360.25	370.10
経 済 学 部	前 期	(一 般)	800	597.50	494.00	527.91
		(論 文)	1,000	616.25	444.75	492.93
	後 期		950	709.65	640.50	664.47
理 学 部	前 期		650	552.00	346.00	402.33
	後 期		400	348.00	287.00	310.55
医 学 部	前 期		—	—	—	—
	後 期		—	—	—	—
医学部学科別		日 程	満 点	総 点		
				最 高 点	最 低 点	平 均 点
医 学 科		前 期	1,300 点	1,126.00 点	934.00 点	992.54 点
保健学科看護学専攻			1,200	835.83	561.33	650.63
保健学科検査技術科学専攻			1,200	857.66	708.00	763.61
保健学科理学療法科学専攻			1,200	822.50	749.00	776.82
保健学科作業療法科学専攻			1,400	898.16	773.83	819.31
医 学 科		後 期	1,250	988.00	908.30	934.29
保健学科看護学専攻			1,200	831.16	675.16	744.43
保健学科検査技術科学専攻			1,200	903.16	810.16	847.43
保健学科理学療法科学専攻			1,200	836.83	802.16	821.44
保健学科作業療法科学専攻			1,400	876.33	852.50	864.55
薬 学 部	前 期		950	750.33	596.08	644.21
	後 期		950	740.50	661.25	696.70
工 学 部	前 期		1,000	835.91	546.41	648.06
	後 期		—	—	—	—
工学部学科別		日 程	満 点	総 点		
				最 高 点	最 低 点	平 均 点
地 球 工 学 科		前 期	1,000 点	793.58 点	572.16 点	631.56 点
建 築 学 科			1,000	756.58	610.75	653.94
物 理 工 学 科			1,000	835.91	617.58	677.21
電気電子工学科			1,000	824.16	589.66	639.99
情 報 学 科			1,000	831.00	546.41	644.46
工 業 化 学 科			1,000	835.41	580.58	635.80
地 球 工 学 科		後 期	1,100	870.50	786.00	822.80
建 築 学 科			450	397.50	346.50	368.44
物 理 工 学 科			1,100	852.25	740.25	788.13
電気電子工学科			500	429.08	343.49	384.07
情 報 学 科			300	170.00	119.00	136.44
工 業 化 学 科			1,000	715.83	598.50	634.53
農 学 部	前 期		1,050	817.50	631.66	688.40
	後 期		—	—	—	—
農学部後期学科別		日 程	満 点	総 点		
				最 高 点	最 低 点	平 均 点
資源生物科学科		後 期	810 点	581.73 点	486.53 点	525.27 点
応用生命科学科			810	580.10	535.56	560.76
地域環境工学科			900	657.50	611.50	630.79
食料・環境経済学科			800	614.33	531.33	553.93
森 林 科 学 科			810	554.00	502.40	552.84
食品生物科学科			290	244.55	223.10	229.86

3. 志願者・入学者 出身高校等所在都道府県別調

上段…志願者数
下段…入学者数

都道府県		学部										計
		総合人間	文	教育	法	経済	理	医	薬	工	農	
北海道		22 4	28 7	5 1	12 4	14 1	45 6	12 2	4	30 10	21 4	193 39
東北	青森	4 1	5		6 2	1	8 1	1		5 1	5 1	35 6
	岩手	1	2	2 1	1	2	6		2	3	1 1	20 2
	宮城	13 2	6 1	1	4 2	4	9 2	1	1 1	5	14 4	58 12
	秋田		3	1	1	2	13 3	2		5	3	30 3
	山形	4 2	8 3		1	1	4	2		2 1		22 6
	福島	1	5 1	2	3	4 1	18	7 2	2 1	11	7 1	60 6
関東	茨城	12	9 1	5 1	11 1	21 3	30 6	7	1	22 9	9 3	127 24
	栃木	4	9 1		1	8 1	6 1	2		9 3	8 1	47 7
	群馬	6 1	13 3	5 1	9 1	15 1	13 1	1 1	3	13 7	5 3	83 19
	埼玉	14	8 1	12	9	21 3	45 5	7 3	4	21 2	12 2	153 16
	千葉	22 1	15 2	5	7	48 3	57 9	12 2	15 2	48 7	21 1	250 27
	東京	70 12	71 13	37 7	59 7	126 11	199 23	58 7	24 4	95 22	72 12	811 118
	神奈川	32 4	24 2	14	23 2	56 4	56 7	16 3	6 1	45 9	21 3	293 35
中部	新潟	2	2		5 1	5 1	17 1	3	1	8 3	6 2	49 8
	富山	3 2	13 2	2	6 2	13 2	9 2	8 1	2	15 4	4 1	75 16
	石川		11 3	4 1	15 5	12 1	14 2	9 2	3 1	19 6	5 2	92 23
	福井	5 2	17 4	3	25 6	11	10 3	5 3	2 1	31 10	9 4	118 33
	山梨	2 1	4		1	1	8 2		1	7 2	3 1	27 6
	長野	12 4	19 6	6 1	24 9	26 2	22 5	8 4	6 2	16 4	16 2	155 39
	岐阜	13 3	18 3	2	16 3	17 2	33 5	15 5	3	58 13	20 6	195 40
	静岡	23 4	14 4	8 1	17 2	29 5	40 6	15 3	10 2	71 31	27 6	254 64
	愛知	29 10	54 12	22 4	66 16	76 8	123 22	35 9	27 8	174 58	74 20	680 167

都道府県		学部										計
総合人間		文	教育	法	経済	理	医	薬	工	農		
近畿	三重	134	229	3	201	132	246	136	42	6319	141	18950
	滋賀	41	2710	10	173	253	385	225	173	9640	4110	29780
	京都	355	10023	3111	18144	20631	12524	9924	335	363113	14532	1318312
	大阪	7413	13333	4910	22164	25945	18238	18449	5815	611183	23455	2005505
	兵庫	5914	8413	364	16947	19141	14336	14949	388	380132	13044	1379388
	奈良	255	6815	295	9936	13032	5914	10734	328	28083	12738	956270
	和歌山	93	104	61	175	247	256	204	72	6717	224	20753
	中国	鳥取	31	41	1	4	4	172	3	11	114	6
島根		31	43	21	72	72	1	41	52	125	32	4819
岡山		6	195	61	248	252	274	9	41	7130	246	21557
広島		135	345	41	4112	355	5514	152	195	6117	349	31175
山口		41	3	21	157	91	294	81	21	218	82	10126
四国	徳島	21	93	2	103	81	52	21	41	135	102	6519
	香川	41	255	81	236	112	254	101	91	5715	173	18939
	愛媛	21	123	73	144	175	103	104	21	4223	124	12851
	高知	41	5		63	3	93	6		206	5	5813
九州	福岡	176	409	134	339	233	5611	2410	63	11035	3311	355101
	佐賀	3	83		62	152	51	102		145	93	7018
	長崎	51	52	21	3	7	43	51	2	72	83	4813
	熊本	82	122	1	82	8	153	31	62	193	152	9517
	大分	21	31		2	21	73	2		53	1	249
	宮崎	2			41	62	82	5		82	42	379
	鹿児島	51	113	61	101	131	255	111	21	276	122	12222
	沖縄	51	32		4	61	103	62	3	2	2	419
合計		601122	999223	35463	1260323	1560238	1689308	953245	37185	3,073958	1,279315	12,1392,880

(備考) 高等学校・中等教育学校以外の外国学校出身者及び
大学入学資格検定合格者等の入学資格取得者を除く。

4. 志願者・入学者 入学資格取得年別調

学 部	志 願 者						入 学 者					
	総数	現 役	浪 人				総数	現 役	浪 人			
		17. 3卒	16. 3卒	15. 3卒	14. 3卒	13. 3以前卒		17. 3卒	16. 3卒	15. 3卒	14. 3卒	13. 3以前卒
総合人間学	610	359	185	45	7	14	122	66	47	8	1	
	検 8 他 1	検 1	検 4	検 1 他 1	検 2							
		58.9%		41.1%				54.1%		45.9%		
文学部	1,011	616	301	55	14	25	224	118	92	11	2	1
	検 12	検 5	検 4	検 1	検 2		検 1		検 1			
		60.9%		39.1%				52.7%		47.3%		
教育学部	361	220	95	19	10	17	64	39	19	2	1	3
	検 7		検 5		検 2		検 1				検 1	
		60.9%		39.1%				60.9%		39.1%		
法学部	1,285	833	341	55	13	43	328	196	115	13	1	3
	検 22 他 3	検 5	検 6 他 2	検 2 他 1	検 9		検 3 他 2	検 1	検 1 他 1	検 1		
		64.8%		35.2%				59.8%		40.2%		
経済学部	1,568	890	471	99	45	63	238	134	90	6	2	6
	検 8	検 2	検 3	検 1	検 1	検 1						
		56.8%		43.2%				56.3%		43.7%		
理学部	1,722	969	438	115	45	155	311	188	100	13	2	8
	検 29 他 4	検 7 他 1	検 7	検 7	検 1	検 7 他 3	検 3		検 1	検 1		検 1
		56.3%		43.7%				60.5%		39.5%		
医学部 医学科	486	218	90	38	17	123	102	60	25	9	2	6
	検 15	検 9	検 1			検 5	検 1	検 1				
		44.9%		55.1%				58.8%		41.2%		
医学部 保健学科	484	275	107	33	24	45	145	82	37	11	7	8
	検 2	検 1		検 1			検 1	検 1				
		56.8%		43.2%				56.6%		43.4%		
薬学部	373	210	90	27	5	41	85	52	29	3		1
	検 2					検 2						
		56.3%		43.7%				61.2%		38.8%		
工学部	3,089	2,086	765	113	40	85	958	651	278	20	4	5
	検 14 他 2	検 4 他 1	検 6 他 1	検 1		検 3						
		67.5%		32.5%				68.0%		32.0%		
農学部	1,293	747	371	84	24	67	315	176	122	13	2	2
	検 12 他 2	検 2 他 2	検 1	検 4		検 5						
		57.8%		42.2%				55.9%		44.1%		
合 計	12,282	7,423	3,254	683	244	678	2,892	1,762	954	109	24	43
	検 131 他 12	検 36 他 4	検 37 他 3	検 16 他 2	検 10	検 32 他 3	検 10 他 2	検 3	検 3 他 1	検 1 他 1	検 2	検 1
		60.4%		39.6%				60.9%		39.1%		

〔外国学校出身者のための選考に係る入学資格取得年別調（外数）〕

学 部	志 願 者			入 学 者		
	総 数	現 役	浪 人	総 数	現 役	浪 人
		16.4～17.3卒	16. 3以前卒		16.4～17.3卒	16. 3以前卒
法学部	32	32		5	5	
	他 32	32		他 5	5	
		100.0%	0.0%		100.0%	0.0%
経済学部	33	31	2	9	9	
	他 33	31	他 2	他 9	9	
		93.9%	6.1%		100.0%	0.0%

検…大学入学資格検定合格者
他…その他の入学資格取得者

公開講座

フィールド科学教育研究センター 芦生研究林 公開講座 2005
森のしくみとその役割 ―森にくらして―

プログラム 7月28日(木) 過去へのいざない(講義)
7月29日(金) 探索と森林浴
7月30日(土) 未来へ(講義)

1. 日程：7月28日(木) 13:00 ～ 7月30日(土) 12:00 (2泊3日)
2. 会場：フィールド科学教育研究センター 芦生研究林(京都府北桑田郡美山町芦生)
3. 交通手段：自家用車または路線バス
4. 定員：50名(応募者多数の場合は抽選)
5. 受講料：8,200円(但し、宿泊費などは別途必要)
6. 申込方法：官製往復はがき(1名につき1枚)に住所、氏名、フリガナ、年齢、性別、連絡先(電話番号・FAX番号・E-mailアドレス)、交通手段(自家用車または路線バス利用)を記入し、返信用はがきには郵便番号、宛先を記入のうえ6月30日(木)《必着》までにお申込みください。(小学生は不可、中学生は保護者同伴)
※個人情報とは本公開講座の運営にのみ使用いたします。
7. 申込先：〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学農学研究科等教育・研究協力課研究協力掛宛
TEL: 753-6411 FAX: 753-6020
E-mail: kenkyo11@mail.adm.kyoto-u.ac.jp
8. その他：詳細は、フィールド科学教育研究センターのホームページ(<http://www.fserc.kais.kyoto-u.ac.jp>)をご覧ください。

数理解析研究所数学入門公開講座

1. 期間：8月1日(月)～8月4日(木)まで
(8月5日(金)に、各講師に自由に質問・討論できるオフィスアワーを設けました。)
2. 時間：毎日 10:30～16:00
3. 場所：数理解析研究所 4階大講演室
4. 演題及び講師：3次元多様体のトポロジー 講師 葉廣 和夫
くみひもの数理 助手 鈴木 武史
劣モジュラ構造と離散凸性 教授 藤重 悟
5. 受講料：7,200円
6. 受付期間：6月13日(月)～7月4日(月) 17:00(必着)
7. 問い合わせ先：数理解析研究所 総務掛「数学入門公開講座」係
TEL: 753-7203 FAX: 753-7272
E-mail: kouza@kurims.kyoto-u.ac.jp
詳細は、数理解析研究所ホームページをご覧ください。
<http://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/~kenkyubu/kokai-koza/index.html>

理学研究科数学教室公開講座 「現代数学展望」

1. 日 時：8月8日（月）～8月10日（水）
各日（3日間共） 10：00～17：00
2. 場 所：理学研究科3号館109講義室
3. 内 容：積分の周期について 教 授 吉田 敬之
3次元多様体の大域構造を見る 教 授 上 正明
群と不変量 助教授 西山 享
4. 受 講 料：8,200円（受講決定通知後に受講料を納入願います。）
※以前とは異なり銀行振込に変わります。
5. 申 込 期 間：6月1日（水）～7月10日（日）
6. 問い合わせ先：大学院理学研究科数学教室 TEL：753-3700
詳細は、理学研究科数学教室ホームページをご覧ください。
<http://www.math.kyoto-u.ac.jp/koukai.html>

霊長類研究所公開講座 「サルを見てヒトを知ろう」

1. 日 時：8月18日（木）・19日（金） 10：00～17：00
2. 場 所：霊長類研究所（愛知県犬山市官林）
3. 演題及び講師：「人間はいつ人間になったか？」 正高 信男
「ヒトは“大きな脳をもつサル”か？」 相見 満
「サルの病気から見えてくるもの」 鈴木 樹理
「性行動からなにがわかるか～ボノボ・チンパンジーの観察から」 橋本 千絵
- 実 習：形態学 遠藤 秀紀
心理学 田中 正之
野外観察 橋本 千絵
遺伝学 川本 芳
4. 受 講 料：7,200円
5. 申 込 締 切：7月11日（月）
6. 定 員：60人
7. 問い合わせ先：霊長類研究所 総務掛 TEL：0568-63-0512 FAX：0568-63-0085
E-mail：ko17kai@pri.kyoto-u.ac.jp
申込方法等、詳細は霊長類研究所ホームページをご覧ください。
<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>

お知らせ

環境安全保健機構開設記念フォーラム

1. 日 時：7月6日（水） 15：00～17：00
2. 場 所：時計台記念館2階 国際交流ホール
3. プログラム：総長挨拶 総長 尾池 和夫
「環境安全保健機構発足について」 環境安全保健機構長 大畠幸一郎
「京都議定書について」 京都市環境局地球環境政策部長 高橋 政和
「環境問題京都大学への提言」 名誉教授・元環境保全センター長 高月 紘

(パネルディスカッション)
「京都大学における環境安全の課題について」
尾池総長
大畠環境安全保健機構長
高月名誉教授・元環境保全センター長
高橋京都市環境局地球環境政策部長
(司会) 理事 田中 成明
4. 参 加 資 格：教職員・学生
5. 定 員：先着200名
6. 問い合わせ先：施設・環境部環境安全課環境企画掛 TEL：753-2364

「総合体育館附設プール」の夏季利用

総合体育館附設プールを以下の期間・時間にかぎり、本学の学生及び教職員向けに開放しますので、ご利用ください。

1. 期 間：7月1日（金）～8月31日（水）（この間の40日程度）
開放日については後日掲示にてお知らせします。
2. 時 間：12：00～14：00
3. 対 象：本学の学生及び教職員
4. 問い合わせ先：学生部学生課（西部構内総合体育館内、電話学内2590）

(注意)

1. 利用に際しては、受付で必ず職員証又は学生証を呈示し、利用者名簿に氏名等を記入してください。
2. プールに入る前には、必ずシャワーを利用し、十分な準備体操を行ってください。また、水泳帽は必ず着用してください
3. 貴重品は、持ち込まないでください。
4. 都合により、利用をお断りする日がありますので、ご了承ください。

(学生部)

「白馬山の家」の夏季・秋季開設

本学の学生及び教職員の厚生施設として、以下のとおり「白馬山の家」の夏季・秋季開設を行いますのでご利用下さい。

この「山の家」は、中部山岳国立公園白馬山麓の^{つがいけ}梅池高原にあり、雄大な自然の中で、夏季は避暑地として、秋季は紅葉の中で登山・トレッキングに最適の場所です。ゴンドラ・ロープウェイを利用すれば、標高1900メートルの梅池自然園で別世界を満喫できます。また、近くにはたくさんの温泉があり、疲れた身体を癒してくれます。

建物は山小屋風の木造地上2階地下1階建てで、1階が食堂兼談話室、2階が寝室、地下が浴室・乾燥室となっています。



1. 名 称：京都大学白馬山の家
2. 所 在 地：長野県北安曇郡小谷村大字千国字柳久保乙869-2
(交通機関) JR大糸線「白馬大池駅」下車，長野電鉄バス「梅池高原」下車，徒歩20分
3. 開設期間：7月10日（日）～10月31日（月）
4. 収容人数：26名
5. 所要経費：1人1泊2食付き 2,600円（体育会会員2,000円）
6. 申込及び問い合わせ先：
体育会事務室（西部構内総合体育館内，電話学内 2574）に照会ください。（学生部）

「白浜海の家」の利用

本学の学生及び教職員の厚生施設として、「白浜海の家」を、下記のとおり1年を通じて開設していますので、ご利用ください。

この「海の家」の裏には砂浜が広がり海水浴が楽しめ、足を延ばせば、円月島や三段壁といった観光スポットや白浜温泉街が近くにあります。

また、隣接するフィールド科学教育研究センター海域ステーション瀬戸臨海実験所には、500種類以上の海の生物を集めた「京大白浜水族館」があります。（有料）

1. 名 称：京都大学白浜海の家
2. 所 在 地：和歌山県西牟婁郡白浜町 京都大学フィールド科学教育研究センター海域ステーション瀬戸臨海実験所構内
3. 開設期間：通年開設（12月29日～1月3日を除く）
4. 収容人数：和室3室 30名
5. 所要経費：1人1泊2食付き 2,300円
(体育会会員1,700円)
6. 申込及び問い合わせ先：
体育会事務室（西部構内総合体育館内，電話学内 2574）に照会ください。（学生部）



附属図書館の特色ある貴重なコレクションの常設展示 「附属図書館セクション」

附属図書館は、図書館資料（図書）を約90万冊所蔵しています。2階には、開架図書を約9万冊配置していますが、全体の10%程度に過ぎません。残りの90%の蔵書は、地下書庫に収蔵しています。これらの書庫内資料は、OPACやカード目録で検索して、カウンターに請求し、利用していただいています。この度、これらの書庫内資料から、附属図書館の特色を示す貴重な資料で、社会的によく利用されているものを、「附属図書館セクション」として一定のテーマの下に常設展示することとしました。2, 3ヶ月に1回の頻度で内容を新しくして、1階の学生希望図書申込みコーナーにおいて、常時附属図書館の貴重資料を紹介して参りますので、ご期待ください。

問い合わせ先：附属図書館情報サービス課特殊資料掛 TEL：753-2640



〔第1回〕幕末京都の尊攘堂セクション（平成17年6月1日～）

第一回目は、明治維新後に子爵品川弥二郎が全国の勤皇志士に手紙で呼びかけて収集し、四条高倉通にあった尊攘堂において展示した勤皇志士たちの墨跡などを中心としたコレクション「維新特別資料」(尊攘堂資料)から以下のような10点を展示します。

1. 「尊攘」の額
2. 「藤本鐵石書状」
3. 品川弥二郎が着用した「陣笠」
4. 大久保利通が使用した「煙草盆」
5. 吉田松陰木像（複製版）
6. 平野国臣が獄中で作成した「紙撚文書（手紙）」
7. 長州藩の「奇兵隊日記」
8. 「奇兵隊日記」（複製版）
9. 「京都維新史跡写真帳」
10. 「及門録」



編集後記

広報誌の取材で京都大学所有の清風荘へ行く機会を得ました。久しぶりの訪問でしたが、木々の緑におおわれた敷地に数寄屋造りの建物と茶室、それに明治、大正にわたって庭園の総合プロデューサーとして活躍した小川治兵衛氏によって作られた広々とした日本庭園があります。敷地内に入ると騒々しい世間から離れ、時間の流れもゆったりと感じられる雰囲気をかもしだしています。庭園の池には鯉が悠然と泳ぎ、カルガモ母鳥と幼い7匹が心を和ませてくれていました。ところが管理人の話によると幼鳥2匹が天敵に襲われたとの話。今の世の中何が起るかわかりません。危機管理の重要性をこんなところでも教えられました。(清風荘のアドレス http://www.kyoto-u.ac.jp/notice/05_seifu/index.htm)